

平成27年度 第3回 広島県立大崎海星高等学校活性化地域協議会 議事要旨

【日 時】 平成27年11月30日(月) 14:30~16:30

【場 所】 広島県立大崎海星高等学校

【出席者】(敬称略, 50音順)

大林 秀則, 閑田 大祐, 小林 弘晃, 小林 弘志, 高田 幸典, 取釜 宏行, 文田 天(委員7名)
三浦 喜成, 依田 功二(県教育委員会事務局2名)

【議事概要】

1 開 会

○校長挨拶 ○会長挨拶

2 説 明

- (1) 第2回協議内容について
- (2) 平成27年度の取組について

3 協 議

- (1) 平成28年度入試における県外等からの生徒募集について

- ▶ 大阪, 東京で説明会を実施した。現在のところ具体的な問い合わせはないが, 興味を持ってきているNPOがある。→ 該当NPOとは継続的に連携を取っていく。
- ▶ 県内の複数のところから, 公営塾・寮等について問い合わせがある。
→ 入学した生徒にどんな力を身に付けさせるのかを明確にした上で, 受け入れを考えていく。
- ▶ 次年度入試に向けての情報発信の方法を考えていく必要がある。
→ 県内及び広島県周辺, 修学旅行で民泊する中学生, ターゲットを絞った情報発信, 生徒募集の始動時期(8月から)等について, 年明けから戦略を練る。

- (2) 活性化策等について

- ▶ 和太鼓部の高文連加盟により, 演奏する場を増やし魅力を発信するとともに, 地域の伝統・文化の担い手の育成を図って欲しい。
- ▶ 地域おこし協力隊の増員を早期に実現する必要がある。
- ▶ 公営塾の受講料について, メリット・デメリットを十分考慮の上, 有料化も視野に入れて議論する必要がある。
- ▶ 関西・関東圏で海星高校に興味がある生徒の学校訪問に対する補助も考える必要がある。
→ NPOの代表に来校してもらうことも考えてみてはどうか。
- ▶ 同窓会青年部は, 年内に会議を持ち, 支援する方法・内容を煮詰めていく。

4 まとめ

5 閉 会

○会長挨拶

○次回の開催予定 2月22日(月)~26日(金)の間で設定



※本協議会は, 公開としております。